

※出し方の注意点

収集品目は、「新聞紙」「雑誌」「ダンボール」「紙パック」に4つに分類しています。分別は、下記の表を参考にして出してください。また、出すときは、分類ごとにひも（ビニール製でも可）で縛って出してください。

新聞紙・広告	雑誌	ダンボール	紙パック
新聞紙、新聞紙に入っている広告	雑誌、本、文庫本、ポスター、封筒、包装紙、OA用紙	ダンボール	牛乳、ジュース等の紙パック（洗った後、開いて縛ってください）

※ミックスペーパー(雑紙)とは、上記「新聞紙・広告」「雑誌」「ダンボール」「紙パック」の区分に該当しないものをいいますが、出すときには、雑誌類に含めます。

次のものは、「雑誌の分類」として出してください。

- お菓子の空き箱、紙箱、ティッシュペーパーの外箱
- チラシ、パンフレット、
- 封筒（背ノリ付き可）、窓付き封筒、ダイレクトメール、パンフレット類、ハガキ
- メモ帳、手帳、名刺、タバコの外空箱（銀紙はダメ）
- 表彰状、のし袋、折り紙、包装材、紙袋
- 学校のプリント・答案用紙、半紙、ノート、画用紙、模造紙、教科書
- チケット、上質紙、コンピュータ用紙、伝票類（裏カーボン紙、ノーカーボン紙はダメ）
- 領収書（レシート（感熱紙）はダメ）
- ワープロ・コピー用紙（感熱紙）はダメ）
- トイレトペーパーの芯、ラップの芯、切符

◎次のものは、回収できません。（可燃ごみとして出してください。）

- くされ紙（水に濡れて紙が1枚ずつ剥がれなくなった紙、日光等に当たりぼろぼろになった紙）
- 汚れた紙・食品残渣（ごみ）が付着した紙類など
（紙おむつ（正確には紙ではありません）、生理用品・鼻紙・油取り、ティッシュペーパー、キッチンペーパーなど）
- 感光紙・感熱紙（ファックス用紙・レシートなど）、裏カーボン紙、ノーカーボン紙
- 臭いのついた紙（石けんの個別包装紙・紙製の洗剤容器・線香の紙箱など）
- 金・銀紙
- シュレッダー紙

収集Q & A

- Q1 雨、雪等の悪天候の日の収集はどうなるのか？（特に公民館等のない集落）
A1 少々の雨、雪で濡れたものでも回収いたします。しかし、できるだけ濡れるのを防ぐため、当日の朝に出してください。
- Q2 4品目が混ざっている古紙類が出されていた場合、収集しないのか？
A2 混ざっていても収集しますが、再生価格（ランク）がさがってしまうため、収集業者が分別しなければなりません。混ぜて出さないようにご協力をお願いいたします。
- Q3 雑誌でホッチキス等の金属で製本してあるもの、ダンボールで大きなホッチキスで留めてあるものは、金属部分を取り外さなくてよいのか？
A3 金属部分は取り外さなくても良いので、そのまま出してください。
- Q4 ダンボールはそのままの大きさで出しても良いか？
A4 そのままの大きさで出してください。切らなくてもよいです。
- Q5 ダンボールや紙が、絵の具等がついていても大丈夫か？
A5 マジックやボールペンなら問題ありませんが、絵の具やペンキ等がついていると、収集できません。可燃ごみに出してください。
- Q6 ガムテープが付いていてもよいのか？
A6 新聞紙はガムテープが付いているとダメです。ダンボールはガムテープが付いていてもOKです。封筒も、テープやのりが付いていてもOKです。ただし、窓あき封筒の窓の部分がプラスチックで出来ているものは、窓部分はずしてください。
- Q7 銀紙・油紙・ナイロンコーティング、ろう引きの紙を古紙回収に出してよいのか？
A7 上記の紙は再生困難なため、可燃ごみに出してください。
- Q8 シュレッダーにかけたものは、古紙回収に出せないか？
A8 シュレッダーを通してバラバラになったものは回収できません。可燃ごみに出してください。
- Q9 内側にアルミがついている紙パックでもよいのか？
A9 アルミがついているものは回収できません。可燃ごみに出してください。

※その他の注意点

- ・回収した古紙は、溶解して再び、紙に再生しますので、紙以外のものが混ざると効率的に資源化できなくなるとともに、再生紙の品質の低下にもつながります。
- ・持ち運びのできる大きさにして、大きさを揃えて（細かいものは紙袋（封筒など）に入れて）、紙ひもなどで十文字に縛ってください。（レジ袋には入れないでください）
- ・紙袋の代わりに食料品の紙製外箱や、ティッシュペーパーの空き箱に入れても出せます。（中身がでないようにテープなどでとめて出してください。）
- ・段ボール箱では出さないでください。
- ・個人情報心配な方は、消してから出してください。